２０２２年（令和４年）　７月１９日（火曜日）

建設通信新聞

（第11面）

測量協関西が公共測量品質管理優秀賞表彰

基準点３、地図部門２者が受賞

日本測量協会関西支部は14日、大阪市の大阪キャッスルホテルで２０２２年「公共測量品質管理優秀賞」の受賞者に対する表彰式を開いた＝写真。基準点部門の３者、地図部門の２者に住田英二専務理事から表彰状が手渡された。

受賞者は、基準点部門が淀川アクテス（５回目）、キクチコンサルタント（初）、ヤス測量設計（初）。地図部門が朝日航洋（初）と八州（３回目）。

受賞後、淀川アクテスの池田幸義代表取締役は「常にチャレンジ精神を持ち、妥協しなかった。今後も技術者育成と高品質に向けて日々努力を続ける」と謝辞を述べた。キクチコンサルタントの橋本衛福知山支店課長は「同じミスを繰り返さず、チェックリスト、第三者による点検など、品質管理に努めた。受賞を励みに２回目、３回目の受賞を目指す」と語った。

ヤス測量設計の中谷頼風代表取締役は「山間部での基準点設置は困難だった。受賞を契機として丁寧な仕事に励む」と話した。朝日航洋の福本博史西日本空情支社長は「品質確保には日々の作業と検査手法の見直しと改善が必要だ。信頼される企業を目指す」と述べた。八州の大寺武在関西支社長は「当たり前のことを当たり前に取り組んだ結果、受賞できた。これからも精進して受賞できるよう努める」と意気込みを示した。

表彰制度は、05年の品確法施行を契機として、測量成果の品質管理が優れた企業をたたえるため、同年に創設された。18回目となる今回は、基準点部門の１３２者、地図部門の２６８者が検定を受けた。